



様式第1号（第10条関係）

議会報告会報告書

開催日時	平成30年10月 6日（土） 午後6時30分 ～午後8時45分		
開催場所	滝原林業研修センター	参加者数	男16人 女3人 計 19人
担当班	C班	出席議員	楠正次・丸山陽子・室井英雄・湯田良一・ 室井嘉吉・五十嵐司
役割分担	代表者	楠 正次	司会進行者 湯田 良一
	報告者	室井 嘉吉	記録者 丸山 陽子
報告内容	平成30年9月定例会における議案等審議結果		
主な質疑答弁	質疑	「議案83号」で、なぜ前任の監査委員は辞職したのか。	
	答弁	“財界ふくしま”に、町が借地している土地に関する記事が掲載されました。議会で記事の内容調査を行い、ほぼ記事どおりであることを確認しました。本人の都合により、監査委員を辞職する旨の申し出がなされ、辞任となりました。	
	質疑	「議案第70号」で、たかつえスキー場の評価の方法は。また、株主はどういう人がなっているのか。	
	答弁	不動産鑑定業者国土交通大臣登録を受けている(株)第一不動産鑑定所会津支社の不動産評価を受けています。 株主は、南会津町、会津高原リゾート(株)の役員持株会と従業員持株会、南会津森林組合、(株)大東銀行、会津信用金庫、会津みなみ農協です。	
	質疑	町は、館岩の尻ぬぐいをしているのではないのか。	
	答弁	働いている人は、南会津町の人であり、スキー人口は減っているが雇用の場となっています。これからも引き続き発展を期待しています。	
	質疑	ゴルフ場は、どこが運営しているのか。	
	答弁	会津高原フレンド・カントリークラブ(株)です。	
	質疑	南会津町にある4つのスキー場は、黒字経営になっているのか。4億円の返済が重荷になっているのではないのか。	
答弁	黒字とはなっていない。地域を運営していくには人口の定着も重要そのためには、冬期間の雇用確保も重要な課題である。 南郷へ来ているトマト農家の方々は、夏はトマトづくり、冬期間はボードを楽しんでいます。定住も図るこれも町づくりの一つです。 スキー場へはさいたま市などの子供たちが来ます。また、スキー場は、冬期間の働く場所にもなっており、赤字だからといって切り捨てることは出来ません。議員も皆さんの意見を聞きながら4つのスキー場の活性化に関わっていきたいと考えています。		
	質疑	冬仕事の確保が難しい。少子高齢化にもなって町から若い人が出ていている。この町で魅力を持って働く場所がない。	

		町に残る魅力づくりをしていかなければいけないと思うが、町として企業誘致など、若者の定住化に向けた提案はあるのか。
	答弁	どこの町村も若者が出ていってしまう。今のところこれだというものがないが、町に、企業をつくり若者に来てもらう職場をつくっていこうとする思いはあります。 都市部の一極集中でなく、国に考えてもらう事も大切ではないかと思っています。議員もしっかり関わっていきたいと考えています。
	質疑	特急リバティが入って便利になったという人もいるが、前より不便になったという人もいる。歓迎式典などやって明るくなったと思うが、リバティ効果はあるか。
	答弁	効果については、乗入れからまだ1年半しか経過しておらず、はっきりとした効果については具体的には無いかもしれないが、到着点となる中心市街地の活性化を目的とした町づくり計画は作成されています。今後、商工会を中心に、石造りの土蔵を利用した町並みづくりなど、南会津町に留まっていたいただけるような計画を検討しています。
	質疑	南郷にトマトづくりに来ている人は、家族連れで来ているのか。後継者も一緒に来ているのか。
	答弁	家族連れで来ています。
	質疑	町長が選挙で公約した田島高校について、福大との連携でレベルアップを図ると言っていたが、議会に提案されているか。
	答弁	まだ提案する段階ではありませんが、町長より話はありました。
主な意見・要望 ※答弁済み・持ち帰り課題含む (調査)	意見	特急リバティで田島駅に来て、シャトルバスで下郷へ行ってしまふ。 東武は、若松や猪苗代を目指して特急リバティを乗り入れたのが目的だ。その中間点として、何かやった方がよいのではないか。商工会などが検討しているというが、町としてもどうするか話し合っ欲しい。
	答弁	議員一人一人にとっての課題でもあります。いただいた意見については、活かしていきたいと思います。
	意見	① 鳥獣対策について、下郷町は、鳥獣を追い払う花火(爆竹)を無料で配布している。南会津町は、独自で買っている。無料にならないのか。 ② 滝原には、鉄砲の鳥獣駆除隊がない。滝原にも鉄砲の駆除隊が欲しい。
	答弁	① 町で補助しているので、そちらで対応願います。 ② 要望として受け止めます。
	意見	今度(次期、改選以降)から議員が減って報酬が上がるというがどこから言われてなったのか。
	答弁	全議員の一年間の行動記録を取り、記録を基に出された報酬について6万が妥当と出ましたが、町民の皆さまの理解が得られませんでした。その中で、議員を18人から16人に、報酬を22万円から25万円に提案しましたがこれも理解が得られず、町の報酬審議会に委ねました。そこで、1万円なら妥当との回答をいただき今回の結果となりました。

意見	議員を増やして、報酬を10万円にしたかどうかという意見はなかったのか。
答弁	そのような話には、発展しませんでした。 西部からは、議員数が減ったことで田島からしか議員が出られなくなり、自分の地域の意見は誰が聞いてくれるのかという声もありました。 私たちは、若い議員にたくさん出て欲しいとの思いがあります。この報酬で、若い議員は立候補できないと考えます。年400万円位ないと子育てしている若い議員は出られない。やっと、1万円上げましたが、若い人が議員に出られる環境にしたいと考えています。
意見	一万本のさくらを町でやっているが、自分の案を話したい。 スキー場をつぶして、ゲレンデに一万本のさくらを植えたらどうか。 西部のスキー場には、もみじを。夏の遊び場は、伊南のお城で、また、伊南川で遊ぶ。一年通して遊べる町にしてはどうか。スキー場に桜を植えて、今すごい観光地になっている所がある。南会津もそうすべきだ。
答弁	今、一万本のヤマザクラの植栽をそれぞれの地域で進めています。 また、南郷には、ひめさゆりがあり、ひめさゆりの観光地として植栽も進められています。
意見	高校教育から地元に残るように教育して欲しい。
答弁	それぞれの希望があり、若松に行く人もいます。取り合いをするのではなく子供たちの目指すところに行くことが望ましい。南会津高校へ田島から16人行っています。館岩の子供たちは、只見高校にも行っています。只見町では、寮をつくっています。町としても、館岩から南会津町の高校に通えるような環境にしたいと考えています。
意見	生徒の思いは自由だが、田島高校を中心に考えて欲しい。田島高校ならバスはいらないので。
答弁	南会津町には、高校が2つあります。今、2つの高校の統合についても考えがされています。とても厳しい状況にあり、そのため検討会が立ち上げられています。どの高校も重要です。
要望	滝原の農道、水路が昔のままで舗装されていない。U字溝を入れる方法、道を整備するにはどうすればいいか。跡継ぎのためにも今やっておきたい。建設課は、利用者が少ないという理由でやらないと言っている。どうすればよいか。
答弁	農地水での事業のしくみについて説明しました。

平成30年11月21日

南会津町議会議長 五十嵐 司 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 C 班長 楠 正次 